

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する東京電力ホールディングス株式会社等との面談

2. 日時：令和4年8月30日（火）13：30～16：50

3. 場所：原子力規制庁 16階B会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 米林上席検査監視官、笠川室長補佐、  
沼田主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官、  
新添主任技術研究調査官、小城技術研究調査官、  
関根技術研究調査官、和田山技術研究調査官、  
大類技術参与

東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部

原子炉安全技術グループ 課長 他1名

株式会社テプコシステムズ 原子力エンジニアリング事業部

原子力安全評価技術部 課長 他3名

東北電力株式会社 原子力本部 原子力部（原子力技術） 担当

株式会社トインクス 開発運用本部

システム開発1部 システム開発推進課 副長 他1名

中部電力株式会社 原子力部 安全技術グループ 副長

株式会社中電シーティーアイ

原子力ソリューション部 PRAグループ 専門課長

北陸電力株式会社 原子力本部 原子力部 原子力安全設計チーム 主任

中国電力株式会社 電源事業本部（原子力安全） 担当副長

電源開発株式会社 原子力技術部 炉心・安全室 担当

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 課長 他1名

原電エンジニアリング株式会社 IT・解析部 PRAグループ 主任

東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力安全システム設計部 主務

日立GEニュークリア・エナジー株式会社 日立事業所

原子力計画部 原子炉計画グループ ユニットリーダー主任技師  
電力中央研究所 原子力リスク研究センター 上席研究員 他2名

## 5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）は、「原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的リスク評価に関する実施基準（レベル2 P R A編）」（(一社)日本原子力学会）等に基づき同社が作成した柏崎刈羽原子力発電所7号機の確率論的リスク評価（レベル1.5 P R A）モデルについて、説明を行った。

(2) 今後、原子力規制庁は、東京電力が作成したレベル1.5 P R Aモデルの適切性を確認していく上で、同社による詳細な説明を要するものについては面談で確認していくこととし、また、具体的な確認方法については、引き続き意見交換していくこととした。

## 6. 配布資料

なし